

平成27年3月31日

国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所

青森県県土整備部 河川砂防課

第4回岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会の 議事概要について

1 検討会の概要

日時：平成27年3月25日（水）13：30－15：30

場所：青森国際ホテル 本館3階 孔雀の間

出席者：（学識経験者）檜垣委員、井良沢委員、佐々木委員
（防災関係者）ほか12委員

2 検討概要

（1）第3回委員会における指摘事項と修正案について

・第3回委員会における指摘事項と修正案について事務局から説明した。

（2）岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画について

・岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画（案）の内容について事務局から説明した。

（3）岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画策定後のスケジュールについて

・緊急ハード対策の実施方針と、緊急ハード対策で目指す効果の設定（案）について事務局から説明し、検討した。

（4）その他

・岩木山の火山防災全般に関する意見交換を行った。

3. 議事概要

委員からの主な意見等は次のとおり。

（1）について

○事務局の資料のとおりとすることを確認した。

（2）について

○計画は了承され、3月25日付けを持って策定とする。

○平成27年度以降の緊急ハード対策の詳細検討では、泥流によって道路下の暗渠が堰き止められ、洗掘されることも想定しておく必要がある。

○緊急ハード対策の実施には、土捨て場や進入路等が必要である。平常時から準備が必要であるが、一度に全てを準備することは困難であるため、優先度を付けて対応していくことで実効性を高めておく必要がある。

(3) について

- 岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画を地域防災計画に早急に反映する必要がある。
- 火山活動の研究分野には、まだ不十分なところがある。新たな知見が出てくれば、計画を見直すことも考えておく必要がある。
- 今後導入される噴火警戒レベルや、平成 27 年 3 月 24 日に運用開始した量的降灰予報を火山噴火緊急減災対策砂防計画に活用してほしい。

(4) について

- 昭和 50 年の百沢の土石流や、平成 25 年の後長根沢の土石流は、溪床堆積物の移動が多く、新規の崩壊が少ない傾向にある。溪床堆積物をモニタリングできるとよい。